

ヒジマチ  
日出町

R7.1.1 住民基本台帳人口：総人口…27,829人 男…13,388人 女…14,441人 世帯数…12,894世帯  
R7.1.1 総面積…73.26km<sup>2</sup> 公共施設数(令和5年度)：小学校…5校 中学校…2校  
出典：令和7年度版 大分県市町村ハンドブック



安部 徹也 町長

日出(いづ)る町と書き「ひじまち」と読む日出町は「ハーモニーランド」や大分むぎ焼酎「二階堂」が有名ですが、豊かな自然と豊富な湧水も町の誇りです。今後もこの豊かな自然と共生しながら、未来にわたる愛着あるまちづくりを進め『住民幸福度100% 日本一誇れるまち』の実現を目指し、持続可能な成長に向けた取組みを進めてまいります。企業の皆様におかれましては、本町の未来を築くお力として、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



寄付御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄附額100万円以上) ・感謝状贈呈(寄附額100万円以上) ・地公体広報誌掲載
- ・HP掲載(企業URLリンク貼り付け) ・視察受入 ・功労者表彰推薦 ・紺綬褒章推薦
- ・その他(500万円以上で記念品贈呈及びプレスリリースの様子を写真と共にSNS等で配信)

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取組み



カテゴリー1 産業振興・企業誘致

産業振興・企業誘致の推進と雇用創出

若者が日出町に住み続ける、または進学や就職で転出後に再び戻りたいと思える魅力ある雇用の場を確保し、創業するための施策を推進するとともに、事業承継や起業により町内での雇用機会を増やすことで、地域経済の維持・発展に努め、安定した雇用と所得の向上を図ります。また、第1次産業への新たな担い手や後継者の確保や付加価値の高い商品開発、6次産業化による販路拡大により魅力ある農林水産業を振興します。



カテゴリー9  
まちづくり

地域公共交通運行事業

民間バス路線の廃止や便数の減少に伴い、コミュニティバス路線の再編やタクシー補助等も含め、誰ひとり取り残さない地域公共交通の実現に取り組みます。年齢、性別、国籍、障がいの有無等にかかわらず、住み慣れた地域で誰もが健康でいきいきと暮らすことができるまちを目指します。



日出町デジタル田園都市構想総合戦略

幸福度100% 日本一誇れるまち

基本目標

1

つながる幸せを感じ住み続けたいまち

住み慣れた地域で誰もが健康でいきいきと暮らすことができる仕組みづくりを行うことで、安心して生涯住み続けたい持続可能なまちを目指します。

基本目標

2

未来に輝く『ひと』をみんなで育むまち

子育て支援の充実と教育環境の整備により出生数の増加を目指します。

基本目標

3

魅力を生み出し『ひと』がつどうまち

本町への人の流れを生み出すため、本町が有する恵まれた自然や交通の利便さ等の優位性の発信により効果的な移住施策に取り組み、人口の社会増を目指します。

基本目標

4

夢を叶え魅力ある『しごと』を創り出すまち

魅力ある雇用の場の確保や創業するための施策を推進するとともに、第1次産業の新たな担い手や後継者の確保、また付加価値の高い商品開発や6次産業化による販路拡大により魅力ある農林水産業を目指します。



## 南海トラフ地震に備えよう! 子どもの居場所づくりプロジェクト

(SDGs) 関連するゴール



総事業費 41,440千円 寄附目標額 23,910千円  
 数値目標 ●KPI:旧耐震基準施設(2024年度)1施設→(2025年度)0施設

日出町には5つの町立小学校があり、全ての小学校区に9つの放課後児童クラブを設置しています。

女性の社会活躍が進む中、子育てと仕事の両立を図るための環境整備は重要であり、いわゆる「小1の壁」を打破するための児童クラブの整備は、保育所同様にニーズが非常に高くなっています。そのような中、近年、南海トラフ地震の発生確率が高まっていますが、現在、新耐震基準を満たしていない施設があります。

安全で快適な子どもの居場所づくりのために、新耐震基準を満たしていない放課後児童クラブの施設に着手します。



寄附の  
具体的な  
メリット

ご支援いただくことで、子育て世代の方が仕事と子育ての両立を図ることができ、安心して子育てできる環境が整います。  
 ・10万円以上 町HPに企業名掲載(リンク掲載可)  
 ・100万円以上 上記に加え、町長から感謝状贈呈、報道機関へのプレスリリース  
 ・500万円以上 上記に加え、記念品贈呈、プレスリリースの様子を写真と共にSNS等で配信

寄附申出書の事業名選択時は「未来に輝く『ひと』をみんなで育むまち」を選択してください。



## 全国で唯一現存の江戸時代茶屋 「襟江亭」を守ろう!プロジェクト

(SDGs) 関連するゴール



総事業費 30,310千円 寄附目標額 30,310千円  
 数値目標 ●KPI:襟江亭の解体保存の完了

日出町の大神深江港には、1667年に第3代日出藩主木下俊長の命により造営された江戸時代前期の御茶屋「襟江亭」が現存しています。襟江亭は、日出藩主や近隣諸藩の大名が参勤交代時に休息や交流していた歴史的建築物です。この時代の御茶屋で現存しているものは全国的にも極めて稀です。構造や間取りを見ると、当時の建築技術や利用形態など様々な歴史を知ることができ、歴史的価値が非常に高い重要な建築遺構です。

現在、老朽化が著しいため、貴重な町の文化財として後世に継承していくために解体保存に着手します。



寄附の  
具体的な  
メリット

ご支援いただくことで、町の歴史や伝統、貴重な文化財を後世に継承し、郷土愛の醸成と郷土文化の普及に役立ちます。  
 ・10万円以上 町HPに企業名掲載(リンク掲載可)  
 ・100万円以上 上記に加え、町長から感謝状贈呈、報道機関へのプレスリリース  
 ・500万円以上 上記に加え、記念品贈呈、プレスリリースの様子を写真と共にSNS等で配信

寄附申出書の事業名選択時は「未来に輝く『ひと』をみんなで育むまち」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの大分銀行までお問い合わせください。